

災害への対応

その時栄養士は？調理師は？
～神戸協同病院栄養科の記録～

2011年9月10日(土)
兵庫民医連セントラルキッチン
山田 博子

阪神・淡路大震災から16年 神戸からの発信 何かを伝えたい

1) 阪神淡路大震災の体験から

- ① そのときどういう事態に陥ったか
- ② 栄養科の職員はどう対応したか
- ③ なにが必要となったか
- ④ 有難かった全国からの支援
- ⑤ その他に気づいた事柄

2) これからの災害に対する心構え

東日本大震災

2011年3月11日(金)

発生時刻 14:46
震源地 三陸沖M9.0
震源の深さ 約24km

(2011年8月18日警察庁発表)

死者 15,707人
負傷者 5,717人
行方不明 4,642人

建物被害

全壊 113,790棟
半壊 149,912棟
その他 603,461棟

阪神・淡路大震災

1995年1月17日(火)

発生時刻 05:46
震源地 淡路島沖M7.3
震源の深さ 約16km

(2005年末 消防庁まとめ)

死者 6,434人
負傷者 43,792人
行方不明 3人

建物被害

全壊 104,906棟
半壊 144,274棟
その他 263,702棟

東日本大震災



阪神・淡路大震災



神戸協同病院・栄養科体制(当時)

- ・151床(3階～5階急性期病棟)・外来透析(19床)
- ・1日平均患者食400食(外来透析含む)職員食無し
- ・常勤11人(栄養士5人調理師6人)
- ・早出2名、居残り2名時差出勤無し(残業15時間)
- ・非常勤2人(食器洗浄・下処理・調理補助)
- ・朝食8:00昼食12:00夕食18:00
- ・患者サービス(行事食・おやつの日・バイキング)

阪神淡路大震災

1995年1月17日・5時46分

阪神・淡路島周辺は激しく揺さぶられ、多くの建物が崩壊し町は火の海と化しました。



毎日新聞社 『阪神大震災全記録』より



どこを見渡しても
猛烈な火と煙があがっている
水が出ない、消防車が来ない









病院東の阪神高速湊川インター 道路が落下している



病院のすぐ
近くまで火の手が
それでも助けを求めて
人々はやってくる

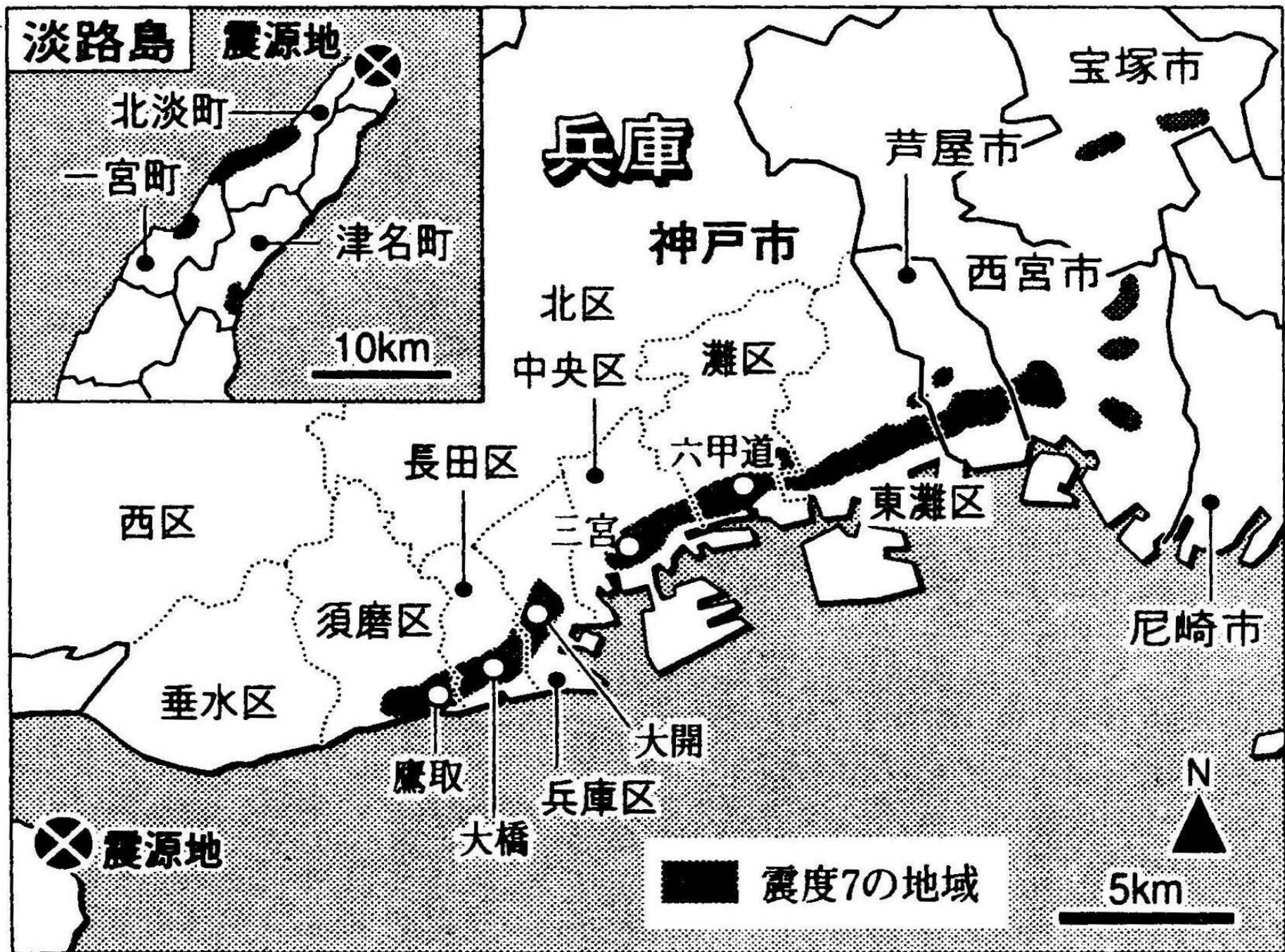


病院すぐ北JR新長田駅の南からあがる火の手





かつて西神戸一の繁華街だった、大正筋商店街



そのときの栄養科は

- 震災後、第1に駆けつけた時間は8時だった
- 当然入院給食の朝食を出すことしか頭になかったが、それよりも患者搬送、生き埋められた住民への対応が優先された
- 事務局長指示で、やっと入院給食の朝食へ厨房に入ったが、ほとんどの調理機器がひっくり返し、倒れている中、暗い冷蔵庫から食パン・牛乳を何とか持ち出しができた

11時に朝食がやっと出せた

- 内容はパン、牛乳を配食（看護師さんの協力）余震は、その間次々と襲ってきました。
- 昼食は、14時におにぎり2個と牛乳（他の職種の協力により提供）病院電気回復せず
- 夕食は17時、炊き込みご飯のおにぎり、サラダ、果物（16時病院の電気回復）冷蔵庫の中をひっくり返して調理（他職種の協力大）

※朝食から夕食まで短時間、出したら作る、作ったら出す！の繰り返しがこの日から始まった

震災後3日間が最も大変

- 1日目を過ごせた条件
 1. 食事を出せる。指示できる職員がいたこと。
 2. 動ける人がいたこと(職員に拘らず)
 3. 食料は冷蔵庫に食品があった事
 4. 電気が使えたこと

栄養科職員の当時の状況 もっとも大変だった3日間

- 当日、早出者2名は不明(2週間後に勤務)
 - 当日午前より勤務者(常勤1名＝栄養士)
 - 当日午後より勤務者(常勤2名)＝調理師
 - その他連絡取れず、生存すら不明
 - 翌日は、昨日の常勤3名に午後より2名出勤
 - 3日目は、昨日より1名減の4名(体調不良)
- ※他職種・ボランティアの協力で乗り切った
- ・以降栄養科の職員は2週間後にそろった

2日目以降の患者給食

- 物資、人も少ない中、頼れるのは冷蔵庫の食品と明日になってみないとわからない「人」
- 食材＝冷蔵庫にあるもので3日間はいけると判断しました（途中全国の支援で翌日より食材の物資が送られさらに計算できました）
- 人＝猫の手を・・・と初めて感じました
- 調理＝火が必要（カセットコンロ・プロパン）
- 水に大きな苦労はしませんでした

1/8.



Cheery Chums

HAI!
CHUM YO



①

焼肉 - Lタス F2-11
△ スライス

オニギリ
たし

みそ汁

② オニギリ

1/9.



Cheery Chums

HAI!
CHUM YO



おにぎり

レモン 304

焼肉

(平山 6冊)

レモン 10玉

大根おろし

カマボコ 20

おでん

477 50

おでん - ヤム

おでん

ミンチ

おにぎり

ハンバーグ

おでん (三好研)

みそ汁 (平山 6冊)

鶏肉

(2)

オニギリ (7)

おでん

ワカメ

おでん

おでん

おでん

おでん

おでん

おでん

1日800食を超える食事提供

- 病院は151床を上回る入院患者、外来待合室のベット、2階リハビリ室、生協会館を仮病棟として多くの入院患者を受け入れた。
- 職員、ボランティアの炊き出し
- 地域の避難所の炊き出し(おじや・卵スープなどに対応した)

※少ない人員の中でも多くの食事提供を行った
皆で何とか乗り切ろうがそうさせた

地震発生後の神戸協同病院栄養科のとりくみ

日時	栄養科の活動状況
1月17日	地震発生。朝食(パン・牛乳)昼食(おにぎり2個・牛乳)夕食(たきこみごはん・サラダ・くだもの) 夕食5時配膳の実施、紙食器の使用、主食ご飯一本にして提供
1月18日	姫路よりプロパン届く(4台)カセットコンロと併用。即日メニュー実施(救援物資より)板宿病院栄養課へ支援始まる。
1月24日	全日本民医連より調理師、田辺さん(岡山)支援に10日間。以後、知念さん(沖縄)15日間。延べ25名の支援をしていただきました。
1月30日	サイクルメニュー(1週間)実施へ。姫路共立病院栄養科に発注表を。おかゆへの対応。板宿病院栄養科への統一発注など支援強化を行う。

2月5日	地域へ配食始まる(150～200食、日曜日を除く毎日)メニューはおかゆ、おじや、卵スープ、豚汁、味噌汁など。
2月7日	避難所へ栄養調査実施(山田、漣、笹野)真陽小学校で15名。
2月11日	ひまわり診療所で栄養指導再開(漣)
2月20日	水の心配なくなる。
2月28日	外来患者の栄養調査実施(三好、漣、笹野、小橋)17名調査。
	仮設住宅(若松公園)栄養調査実施(漣、笹野)5名調査。仮設入居後10日目。
3月1日	仮設住宅(若松公園)栄養調査実施(山田、小橋)10名調査。
3月6日	通常サイクルメニュー(6週間)再開、調整あり。支援者の炊きだし始まる(夕食100食前後)
3月8日	ベトナム人避難所栄養調査(三好、漣)まだまだ物資配給、炊きだしに頼っている状況。
3月11日	栄養科ニュース臨時号発行。現状、今後の患者給食についての状況説明
3月13日	夕食6時配膳へ。入院時訪問始まる。
3月16日	外来栄養指導が週1回で復帰。
3月24日	67日ぶりにガス復旧
3月28日	全日本民医連栄養世話人代表、小林さん視察。
3月30日	全国支援終了。自力復興へ。
4月10日	食器洗浄開始。

ライフラインの状態

- 電気は早かった！！
その日午後16時に回復
- 水は1ヶ月で回復
- ガスは2ヶ月かかりました

主な救援物資 (野菜類)

○ほとんどの種類の野菜が送られてきました

- 1.土のついた野菜
- 2.土のついていない野菜
- 3.水洗いされたカット野菜

※全国からの支援の為か見たことの無いような野菜も送られてきました。

主な救援物資 (おにぎり)

- 震災当日にもっとも早く届いた物資です
 1. 日付けのあるもの
 2. 具の入ったもの
 3. 何も入っていないもの
 4. ラップで包まれているもの
 5. アルミで包まれているもの
- ここで問題です！（どのおにぎりが良いか）

答えは！

3

主な救援物資 (お米)

- 全国各地の名産米
- 古米
- 新米
- 中国米
- インディカ米
- 粟、ひえ、きび

使用に困ったこともありましたがうまく調理できました。

主な救援物資 (果物)

- バナナ
- りんご
- みかん

以上のものが主で何十箱も送られてきました

※腐らせないことに気を使いました

主な救援物資 (その他＝職員に回りました)

- 冷凍食品

(たこ焼き・お好み焼き・たい焼き・ピラフ・ハンバーグ・スパゲティー)

- ・アレルギー食品

(ひえ・あわ)

- ・缶詰類

(フルーツ・魚・肉等)

※職員用と書いてあるとうれしい^^

とても助かった物資

- 1位 人的支援（物資ではありません）
- 2位 水
- 3位 カット野菜
- 4位 おにぎり
- 5位 レトルトのおかゆ
- その他：水のいらないシャンプー

少し困った物資

- 1位 泥のついた野菜
 - 2位 痛みやすい野菜
 - 3位 温かいおにぎり
 - 4位 長期賞味期限の切れた物資
- 贅沢な悩みですが！！

全国の支援者のエピソード

- 北は北海道・南は沖縄の経験ある調理師さんが駆けつけてくれました……が
 1. 経験があるため味付けを任せていたらすごいことになってしまった。(関東はしょうゆが好き＝酢の物)福岡の煮魚に注意を
 2. 福岡から中華の鉄人現れる(手作り餃子)
 3. 長期支援者の部屋が、北海道、沖縄の調理師さんコンビで使用(冷暖房の使用)は、早いもの勝ち

患者給食を一食も欠かすことなく 提供できた理由

- 使命感（栄養科責任者というより職員として）
- 出せる職員がいたから
- 食材があった（支援も大きい）
- 他職種・ボランティアの協力があったのこと
「人」です

提供は出来たが患者給食の問題は たくさんありました

- 治療食としての対応の困難さ

例、味付け、バランス等、通常のサイクルメニュー開始までに90日かかりました。

- ・おかゆへの対応は2週間様々な点での対応の困難さがありました。
- ・これらは、人、物、ライフラインによって大きく左右されました。
- ・院長曰く、2～3日治療食でなくても良い。腹さえ膨らんだらええんや(糖尿は食べすぎは注意しないと)

職場・職員の団結を取り戻す為に

- 震災当日からの勤務者と2週間後の出勤者の業務・感情等に対する温度差の発生
 - 災害時に自分の事を優先させた人
 - 使うべきではない言葉や強い言葉で相手を傷つけたり...
- ★人間として感情を持つのは当たり前です。
最も大変な時期を過ごした職員は職場が安定して出勤した職員に対する不信感は想像以上に大きなものでした。震災前の状況に戻す為に。。

天正

日	付	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	早	日	居
曜	日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	出	祝	残
石井 通雄	4/4	A	E	C	/	A	/	O	/	O	O	/	O	O	/	O	O	/	O	O	/	D	O	休	休	C	O	休	D	C	休	7	2	3	
東山 訓義	4/4	C	D	指	/	E	/	泊	泊	泊	O	/	O	A	A	/	O	A	A	/	休	O	A	C	/	O	C	休	D	C	6	2	4		
松山久美子	D	3/4	A	A	C	/	O	泊	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	休	有	O	O	有	/	D	C	C	有	A	6	2	3	
大西 千春	A	D	2/4	B	E	/	泊	泊	泊	泊	泊	A	A	/	O	A	A	/	/	D	A	3/4	休	C	A	O	休	O	A	休	D	6	3	4	
坂口 元起	C	2/4	C	E	/	/	/	/	/	/	/	C	A	A	/	O	O	A	O	/	O	O	A	休	B	D	O	休	C	C	A	4	3	4	
高和 勝	E	C	3/4	D	/	C	/	/	/	/	O	O	O	/	A	O	O	/	A	/	A	O	A	休	/	A	D	休	A	C	7	3	3		
小橋 和美	A	B	3/4	A	/	/	/	O	泊	O	泊	A	A	O	O	/	/	/	ジ	/	O	ジ	休	休	ジ	A	A	休	ジ	A	休	7	2	2	
笹野さつき	3/4	E	B	ジ	A	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	O	ジ	休	D	ジ	D	/	O	O	ジ	休	C	1	2	2	
連 敏美	B	2/4	C	A	/	D	/	/	/	/	/	休	/	休	休	休	休	休	休	O	O	有	D	ジ	/	O	A	有	C	ジ	5	2	2		
山田 博子	C	3/4	A	指	/	A	/	/	/	/	/	O	O	O	O	O	ジ	/	A	ジ	/	A	休	休	ジ	A	休	A	C	休	ジ	6	2	2	
三好 秀光	有	A	4/4	ジ	D	/	O	O	泊	O	O	O	A	O	O	A	ジ	O	ジ	A	/	A	ジ	ジ	ジ	/	A	8/4	ジ	A	休	6	2	2	
大迫 房子					/	/	/	/	/	/	/	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
日佐智子					/	/	/	/	/	/	/	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
*行事予定	番診※教育委員会	栄職責打合せ※HT				長田南部新年の集い	G 科長会議	平和社保委員会	富虫 延寿	ひまわり診指導	長田南部統一行動	部会	合同職責会議 1 全体研修	G am地域班会議 pm 栄養士部会	組織委員会 合同職責 2	近栄交実行委員会	G 行事食	DM 新患教室	G	教育委員会 pm 調理師部会	県連運営委員会	疾病学習予定	◆備考	次回予定患者懇談会	ひまわり調理実習 2/22	入浴 2/14	行事食 3/3	技術学習							

臨時部会開催により改善を

- 震災時の状況を各自に報告してもらった
 - 職場への思いを語ってもらった
 - 疑問、質問を出し合った
 - それぞれの状況を理解し合うことで温度差は大きく改善された
-
- どんな状況下でも、与えられた職務を全うする事。非常時にこそ自分たちの真価が問われる(でも、死にそうな時はやめよ・・・。)
 - やさしさと強さをもって、団結を今まで以上に！

非常時に備えて、地域を超えてネットワークづくりを

- 地域患者・住民との日頃からの繋がり
- 職能団体の仲間を大切に
- 各種業者との友好的関係づくり

※神戸協同病院では(震災後)

長田区管内栄養士会で災害時ネットワークを作った。

災害時・食中毒(自粛、業務停止)時の対応

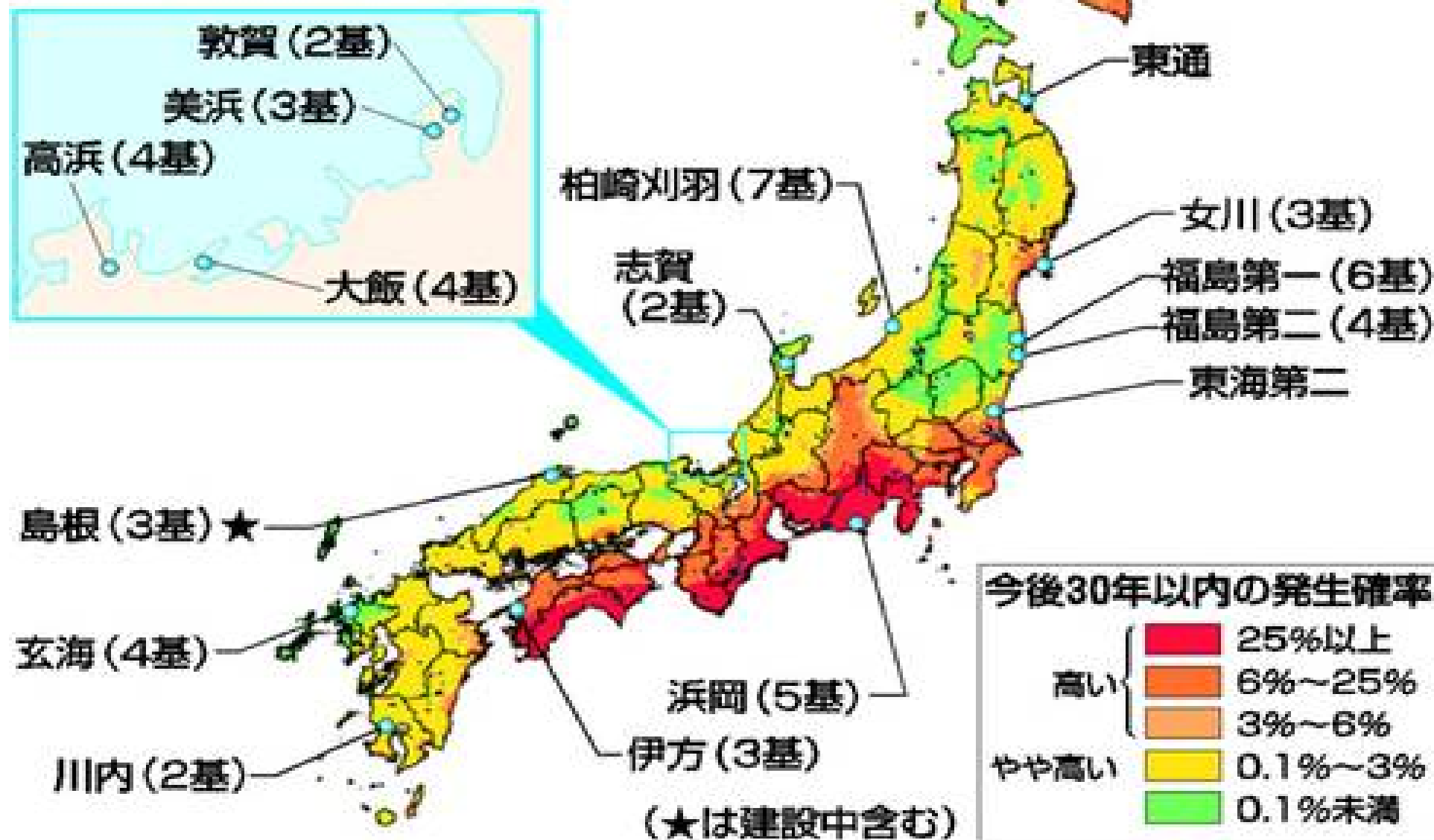
3つの直営病院と1つの産業給食施設で相互支援の覚書を交わした。(幸いに実施されることはなかった)

繰り返り起こる大地震

- 東海・東南海・南海地震（津波地震）についてはいつ起きてもおかしくない状況といわれています。
- 病院、施設やそれに携わる食の従事者は、仕事の責務を果たす為に専門的な知識のもと、どのような状況であっても継続的に特定多数の方に食事を提供しなければなりません。
- 『食を途絶えることは命を奪うことになる。想定外では済まされない』
- 高い確率で起こりうる大地震に備えることが必要です。

震度6弱以上の地震確率分布図と 日本の原発の場所

(地震調査委員会の報告書から作成)



項目	マニュアル(例)
人	職員の安否確認・各項目の責任者・労務について・チームワーク
備蓄食品	朝・昼・夕食×3日間
食材倉庫	場所・面積・図面・倉庫内配置(1, 2, 3日目と使用順に)
燃料の用意	プロパンガス・ガスボンベ・カセットコンロ・薪・マッチ・灯油・炭・固形燃料自家発電は調理場(器具)にも繋ぎ備える
水の確保	耐震性貯水槽・ポリ容器・ミネラルウォーター・給水ポンプ・浄水器 一人当たり1日2Lの水を確保する
代替調理器具	電気炊飯器・電磁調理器・簡易かまど・大鍋・ドラム缶
初期対応 献立表	火災時:ガス元栓を締める。消火作業後各方面に連絡 事前に作成
予算	備蓄食品と保存期間で予算化・訓練時等も計画的に活用
食器用具	使い捨て容器・紙コップ・割り箸・ストロー・ラップ・経管チューブ

備蓄メニュー表(例)

常食メニューレシピ									
	常食レシピ1日目			常食レシピ2日目			常食レシピ3日目		
	メニュー	メーカー名	kcal	メニュー	メーカー名	kcal	メニュー	メーカー名	kcal
朝食	お粥	ホリカフーズ	74	白いごはん	ホリカフーズ	314	白いごはん	ホリカフーズ	314
	鶏肉うま煮	〃	74	とりそぼろ	〃	125	牛肉大和煮	〃	69
	つくねと野菜のスープ	〃	68	ウインナーと野菜のスープ	〃	128	筈とふきの煮物 ★	三島食品	19
昼食	白いごはん	ホリカフーズ	314	白いごはん	ホリカフーズ	314	白いごはん	ホリカフーズ	314
	ビーフカレー	〃	169	中華丼の素	〃	100	麻婆丼の素	〃	147
	ポテトツナサラダ	〃	211	カスタードプリン	ハウス食品	100	つくねと野菜のスープ	〃	68
夕食	白いごはん	ホリカフーズ	314	栗五目ごはん(缶)	ホリカフーズ	350	白いごはん	ホリカフーズ	314
	牛丼の素	〃	355	牛肉すきやき	〃	69	ビーフシチュー	〃	211
	みそ汁	〃	42	ようかん	井村屋	171	フルーツミックス	はごろもフーズ	56
							りんごジュース	カゴメ	41
合計			1,621			1,671			1,553

★スプーン△個、箸□□個

★スプーン△個、箸□□個

★使い捨て容器○個、スプーン△△個、箸□個

やわらか食メニューレシピ									
	やわらか食レシピ1日目			やわらか食レシピ2日目			やわらか食レシピ3日目		
	メニュー	メーカー名	kcal	メニュー	メーカー名	kcal	メニュー	メーカー名	kcal
朝食	お粥	まつや らいするん	151	お粥	まつや らいするん	151	お粥	まつや らいするん	151
	いわしで健康 和風トマト味	はごろも	198	厚揚げと根菜の含め煮 ★	キュービー	48	さんまで健康 大根おろし煮	はごろも	261
	玉子豆腐	ハウス食品	100	ようかん	井村屋	171	ごま豆腐	ハウス食品	100
	かぼちゃのスープ	ホリカフーズ	150	ミルク風味	キュービー	200	エスプレッソ風味	キュービー	200
昼食	お粥	尾西食品	148	お粥	尾西食品	148	けんちん風うどん ★	キュービー	86
	豚肉のしょうが煮	ホリカフーズ	63	和風カレーの素	キュービー	54	だし巻卵 ★	ホリカフーズ	43
	大根と昆布の煮物 ★	三島食品	20	チキンムース	キュービー	86	赤いんげん豆のムース	キュービー	57
	抹茶プリン	ハウス食品	100	ポテトツナサラダ	ホリカフーズ	211	ようかん	井村屋	171
	ハイカロレモンティー	キュービー	160	ずりおろしりんご	キッコーマン	156			
夕食	お粥	尾西食品	148	おじや牛すき焼き ★	キュービー	146	お粥	尾西食品	148
	五目ちらしの素	キュービー	42	鮭と野菜の炊き合わせ ★	キュービー	64	クリームシチュー ★	ハウス食品	80
	きんぴらごぼう ★	三島食品	41	あずきのプリン	ホリカフーズ	80	ほうれん草のプリン	ホリカフーズ	80
	ようかん	井村屋	171				ブルーベリー風味	キュービー	200
合計			1,492			1,514			1,578

★使い捨て容器○○個、スプーン△△△個

★使い捨て容器○○○個、スプーン△△△個

★使い捨て容器○○○個、スプーン△△△個

備蓄食品を導入するにあたり想定すること

■ ①災害の種類は何か？

- A 地震 倒壊・津波・液状化・火災・がけ崩れ 他
- B 台風 風水害・土砂崩れ・洪水
- C 食中毒



■ ②災害の規模はどうなのか？

- 単独なのか？連動なのか？
- 例：東海・東南地震が同時発生。
- 東海・東南海・東海地震が同時発生。（M8以上といわれている）
- 連動して起きた場合1,500万人に影響がある。（東京大学地震研究所による）

■ ③発生時の季節と時間を考える。

- 『夏もしくは冬』と想定しておくが良い。夏は保冷・冬は保温を考える。
- 『夜もしくは夜中』と想定しておくが良い。
- 多くのスタッフが自宅にいる場合出勤するまでに時間がかかる。

■ ④被害規模は？

- 倒壊なのか一部倒壊なのか？浸水なのか一部浸水なのか？など..

■ ⑤ライフライン復旧のメドは？

- 電気(7日)ガス(85日)水道(91日)下水道(135日)ゴミ回収(35日)
- 道路寸断(トンネル・橋崩落) 鉄道寸断 電話不通(15日)
- ()内阪神・淡路大震災記録より神戸市内のデーター
- 想定:水・電気・ガスが停止、道路は寸断(物流ストップ)してるものとする

■ ⑥災害発生時スタッフの就業人数は？

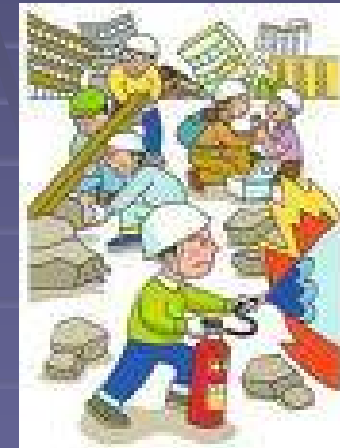
- (阪神・淡路大震災の時神戸市須磨区で40%)
- 災害発生時は平常時の何%就業可能なのか？
- 時間の経過とともに何%アップするのか検討する。

■ ⑦備蓄量は？

- 入所者＋スタッフ＋近隣の避難者

■ ⑧近隣の道路状況は？

- ・海岸があり津波で浸水。
- ・近隣のトンネル・橋が崩落
- ・近辺の道路隆起、地面割れ、がけ崩れ、道路が崩落



備蓄の種類と判断

★基本は厨房が使えないことが前提

- 一般食（缶詰め・レトルト・フリーズドライ・フローズン）
- 流動食・嚥下・ミキサー・栄養補助食品

日常使用しているものを多めにストック（ランニングストック）
非常食だけの摂取は長期間にわたると栄養状態の低下を招くおそれあり

- 経管栄養剤
- 水（持ち運びできるペットボトル）

まず生命を維持するために必要、災害時には水の
使用出来る優先順位が変わることが多い

非常用保存水 12L 付き (2L×6 本) 5 年保存



マジックライス
(炊き出し 50 食) には
水 8L (白米は 10.5L) が
必要です。

メーカーは製造方法により変動するものとございます。

一度に50人分。

内容物例 (五目ご飯)

- 乾燥米飯 4.3kg
- 五目ご飯の具 0.7kg
- 弁当容器 50 個
- しゃもじ 1 本
- 割り箸 50 膳
- 開封カッター 1 個
- 輪ゴム 50 本
- 針金入りビニールひも 2 本
- 衛生手袋 1 組
- 作り方説明書 1 枚

※内容物は
アイテムによって
異なります。

5年
長期保存
できる!



朝食



常食:ごはん、くわいつくね・さや、温泉玉子、牛乳

写真提供
(株)東京中央食品 フローズン食材



ソフト食:おかゆ、チキン・さつまいも(ソフト)、温泉玉子

昼食



常食: ごはん、ポークジンジャー、いとこ煮、VCパイ
ンゼリー、味噌汁

写真提供
(株)東京中央食品 フローズン食材



ソフト食: おかゆ、ポーク・キャベツ(ソフト)、南瓜煮
(ソフト)、味噌汁

夕食



常食:ごはん、あじの柚子庵焼き、野菜大豆煮、キャベツしそ味、清まし汁

写真提供
(株)東京中央食品 フローズン食材



ソフト食:おかゆ、白身魚・小松菜(ソフト)、大豆ケチャップ煮、キャベツゼリー、清まし汁

食品以外の備品

- ・熱源：カセットコンロ（ライフラインでガスは遅い）
ボンベ（現在はJIS規格統一）
効果抜群のプロパンがあれば最高です
移動式回転釜（ガス式）
- ・使い捨て食器等
洗い物が出来ない中、非常に困りました。
アルミホイル・ラップ＝食器代わり
- ・自家発電
- ・簡易トイレ
- ・懐中電灯（電池も） ヘッドライト・ランタン
- ・ラジオ ・ポリタンク ・燃料用タンク
- ・車からの携帯電話充電器



■ 備蓄場所

- ・建物内で換気がよく、温度管理ができる倉庫
- ・津波などの水害が想定されるので上の階が望ましい。

■ 保管方法

- ・水が一番下で取り出しやすい出入り口の近くに。
- ・重たいものは下に、軽いものを上に。
- ・指示書を外箱に記載する。
- ・使用する容器も含めメニュー表を備える。
- ・加工が必要な非常食は出来るだけ説明書(作り方)を箱に貼る。

備蓄はあるにこした事はないが

- 出せる人がいなければ???

★最大の備蓄は !

『 』です

物資は必ず入ってくる

(経験から言えることです)

答えは

『人』

災害時の心構え

- 最優先＝職員の安否確認・職員の安全を優先。団結を基本に。
職員防災記録簿を作っておく、避難所にいる職員もいる
職員一斉メール配信機能を整備しておく(連絡網は機能しない可能性あり)
職員家族の安否確認とライフライン確保(家族の食事・水)
- 電気、水、電話の確保・非常食の点検・指示・提供食材の確認
- 全ての情報を集中させ、適宜協議する
- 災害時マニュアルに沿って、災害時の状況を演出・シミュレートして、あるべき「意思決定」と「行動」の訓練を平常時に行っておく
- ※災害は頻繁に起こるものではなく実際の経験によって培っていくことが出来ない

阪神大震災から学んだものは

- ・いつ起こるかわからない自然災害の恐ろしさ
- ・助け合いによる人と人とのつながり、温かさ
- ・経験して伝えることの重要性

(少しでも役に立てば)

- ・日頃の備えと訓練の必要性





ご清聴ありがとうございました